

## スターチス・シヌアータ栄養系品種の挿し芽苗育成法

スタ・チス・シヌア・タオリジナル栄養系品種は形質的に優れているが、市販の栄養系品種は種苗費の高いことが問題となっている。本県で開発されたオリジナル品種は挿し芽苗利用により種苗費の軽減が可能となる。

表1 培土の違いが発根率に及ぼす影響（平成10年度）

品 種 名	培 土	完全発根 個体率(%)	不完全発根 個体率(%)	未発根個 体率(%)	枯死個体率 (%)
NS1	パーライト	60	13	17	10
	細粒鹿沼土	67	20	13	0
	川砂	63	20	10	7
NS3	パーライト	80	10	0	10
	細粒鹿沼土	87	0	7	6
	川砂	87	7	0	6

挿し芽苗利用の培土には、パーライト、細粒鹿沼土、川砂が利用可能である。

発根の難易には品種間差が認められる。

栽培概要：発根剤 オキシベロン粉剤処理

挿し芽日：NS1 10月26日 NS3 10月23日

最低夜温：15



写真1 調整した挿し穂



写真2 挿し芽



挿し穂の大きさを長さ8 cm程度、葉数6枚程度、クラウン部の厚さ5 mm程度に調整し、パーライト、細粒鹿沼土等に挿すことにより、高い発根率が得られる。

写真3 発根状態